

# リウマチと上手に つきあうために お医者さんに上手に伝えるコツ



症状を伝えるには？



メモを持参する？



写真を撮る？

監修：前島 圭佑 先生

医療法人慈恵会西田病院 リウマチ・膠原病内科 部長



## はじめに

関節リウマチを発症すると関節に痛みや腫れが生じ、  
生活の質が著しく低下してしまいます。

かつては治療法が確立されていなかったために  
病状が進行すること多かったのですが、  
新しい薬の登場により治療が飛躍的に進歩し、  
寛解（病状が完全にコントロールされた状態）を目指すことが  
可能になっています。

しかし、そのためには患者さんご自身による心がけも欠かせません。  
病気や薬のことを深く理解する必要はありませんが、  
「病気とのつきあい方」については  
最低限の知識を身に付けておくことが望まれます。

本シリーズ「リウマチと上手につきあうために」では、  
まさにその具体的な方法の一端として、  
日常生活での注意点や、  
外来受診時の病状の伝え方などをご紹介します。

皆様の生活の質の改善に向けて、  
本冊子が少しでもお役に立てたら幸いです。





# お医者さんに 上手く伝えるコツ

## 米田ゆり子さんのプロフィール

55歳。専業主婦。  
1年前にリウマチを発症。  
趣味はガーデニングで、  
自宅の庭や孫の写真を撮るのも楽しみ。



孫とももつと遊んであげたいけれど、思うように遊べないことも悲しい。



友人とランチにて

見て、

あら、  
すてきな写真ね。



ありがとう。  
でも最近、  
スコップを使ったり、  
スマホで写真を撮  
撮るときに、手が痛くて  
辛い時もあるのよね。



子供たちも巣立って、趣味の  
ガーデニングを楽しみに  
充実した日々を過ごしていました。



そうなんだ。  
ちゃんと先生に  
相談してるの?

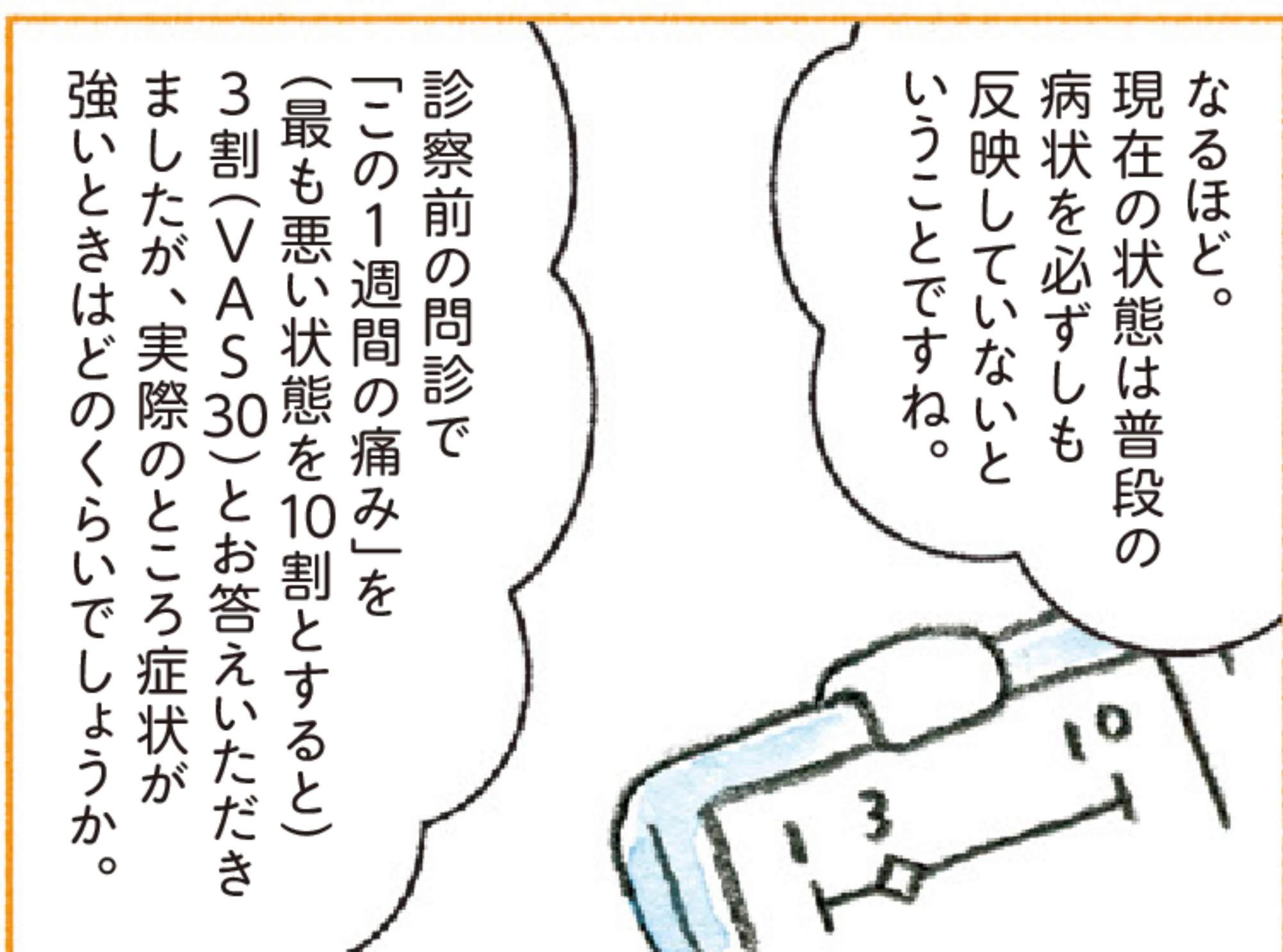
うっ、  
うん...



全然お庭の手入れが  
進まないわ...

でも近ごろ、調子が悪く、  
手に強い痛みを感じるものが  
増えました。





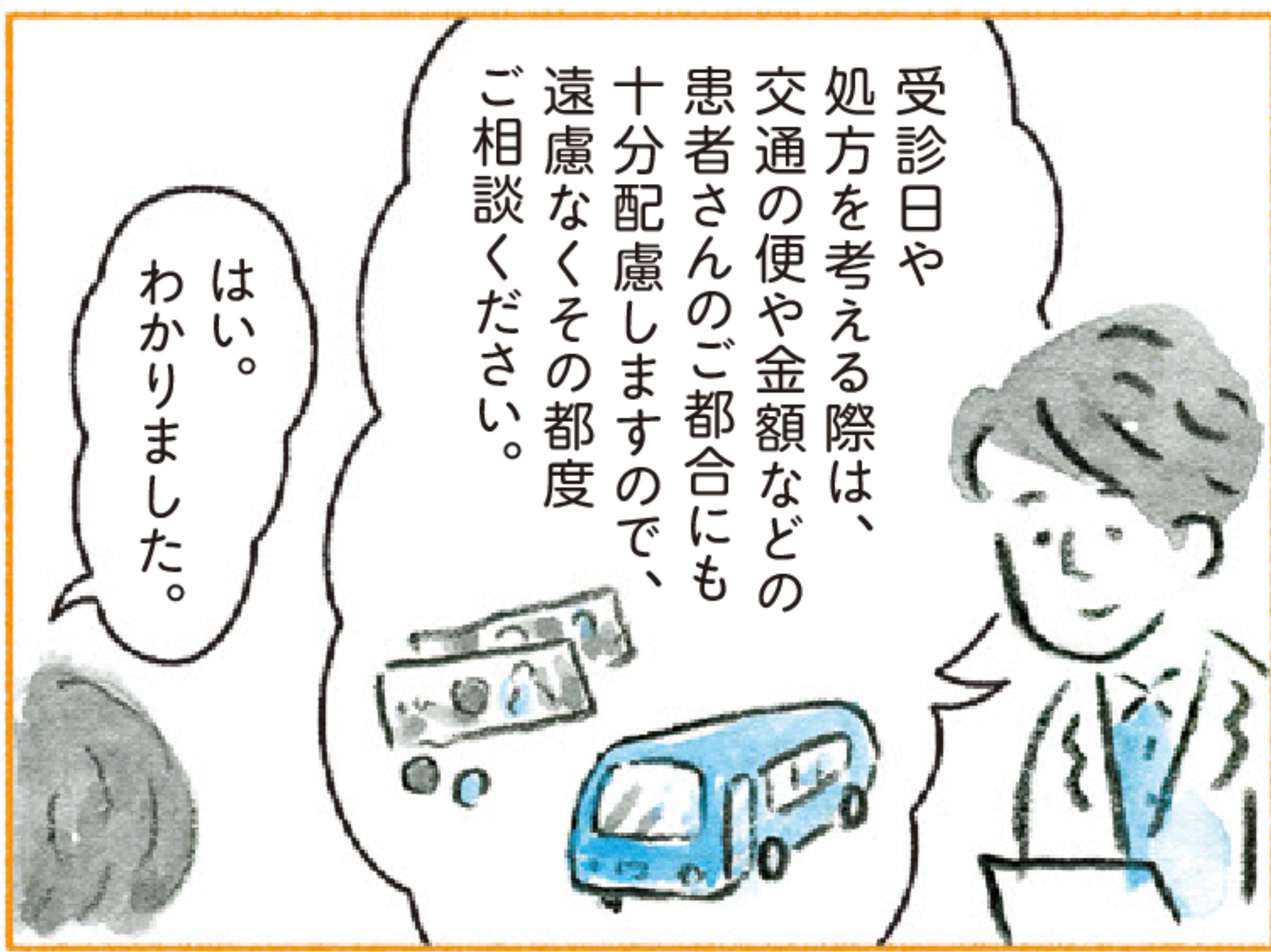
















医療機関名

ファイザー株式会社